

アクセスポイント「ノード」を さらに便利に活用する

EchoLinkの代表的な運用形式となるSysopモード(おもにLINKノード)での便利な機能について紹介します。EchoLinkは、VoIP無線システムの中でも、最上級が多機能があると言われています。例えば、DTMFによる遠隔操作を見てもその機能の多さがわかります。

■ ローカル仲間同士数局でラグチュウ

ローカル仲間同士と複数局で交信をしたい場合、初期設定のままでは、ノード同士は1対1の接続のみ可能な状態なので、設定を変更します。

Sysopモード、Single-Userモードに関わらず一度に接続できる相手局数を制限する設定があるので、これを複数に設定すればOKです。図8-1～図8-4にしたがって設定します。

この機能は「マルチ・コンファレンス」と呼ばれるもので、ネットチャットの会議室に相当します。コンファレンスによっては、接続者(貴方)に対してこの機能を無効にするよう定めていることもあります。「マルチ・コネクト」、「マルチ接続」、「マルチ・コンファレンス」は禁止というアナウンスがあったら、この機能のチェックを外しておきます。原則、別のコンファレンスに接続するときは、外して様子を見てください。

ノードに使うインターネット接続がADSL以上であれば問題ありませんが、ダイヤルアップのモデム接続やモバイル接続では、この設定はお勧めしません。複数局との接続時には、特に回線速度が不足することがあるので、この機能は無効のままとするのが無難です(1接続あたりで上り約17kbpsを要す)。

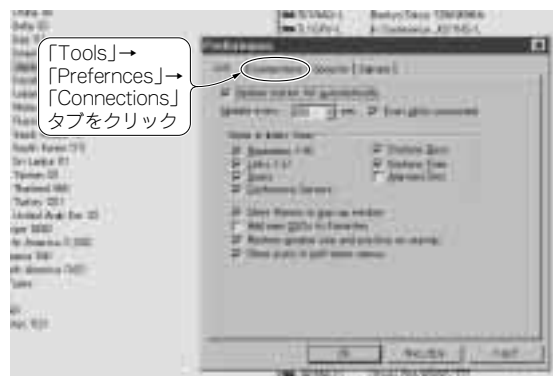


図8-1 マルチ・コンファレンスの設定

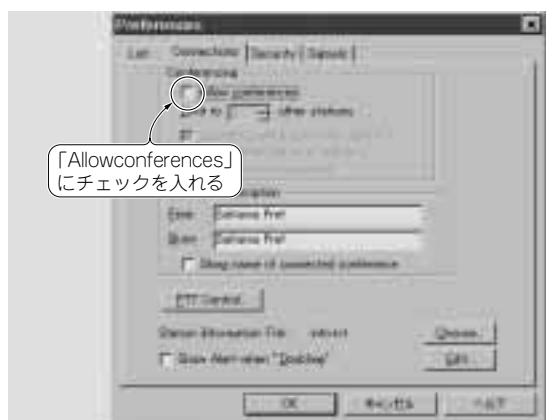


図8-2 Connectionsタブが開く